

12月
定例会
11/29～12/18

会計年度任用職員制度の新設 公の施設の指定管理者の指定



審議議案

令和元年12月定例会は、11月29日から12月18日までの20日間の会期で開かれ、市長から提出された「令和元年度鴻巣市一般会計補正予算（第7号）」など32件の議案について慎重審議し、すべての議案を原案のとおり同意・承認・可決しました。

最終日に、議員提出議案として1議案が上程され、原案のとおり可決しました。

条例の制定

会計年度任用職員制度 の新設

会計年度任用職員とは

会計年度任用職員とは、関係法律の改正により臨時及び非常勤職員が整理され、令和2年4月1日から新たに導入される非常勤職員制度であり、任用期間は会計年度（最長1年間）となっています。本市では、主に現在の臨時的任用職員から会計年度任用職員への移行を予定しています。

関係条例の改正

会計年度任用職員制度の導入に伴い、関係する11の条例を改正するもので、主に給与関係、服務関係についての条例の整備となっています。

問 会計年度任用職員への移行により、職員の勤務条件が向上することだが、具体的な内容は。

答 現行の臨時的任用職員は、賃金と通勤手当相当の賃金を支給していましたが、パートタイム会計年度任用職員には、勤務の実態に合わせて、月額、日額、時間額の報酬を支給し、地域手当、特殊勤務手当、時間外勤務手当等に相当する報酬を支給するほか、通勤手当及び旅費相当の費用弁償も支給します。

問 会計年度任用職員の期末手当について、労働組合との交渉はしたのか。

答 パートタイム会計年度任用職員の期末手当については、労使交渉を踏まえて決定していきます。

その他 公の11施設の指定管理 者を指定

問 放課後児童クラブを指定管理にすること、今までの違いは。

答 放課後児童クラブは、国の運営方針や本市の条例のもと運営しており、基本的な運営は全て一緒です。特色ある事業として、NPO法人子ども支援ホームでは地元企業と協力した大工体験や英語学習、希望者には漢字検定に向けた学習などを、NPO法人三楽では所有するバスを利用してガールスカウト協力のもとでの飯ごう炊さん体験や地元の人たちとの餅つきなどがそれぞれのクラブで予定されています。

問 田間宮と馬室の放課後児童クラブを指定管理としない理由は。

答 田間宮については、田間宮放課後児童クラブ第2が旧田間宮公民館を使用しており、かなり老朽化が進んでいます。先に施設の老朽化をどうするかを検討すべきで、指定管理を考える段階ではないからです。馬室については、児童数が面積定員を超過しており、出席率により定員超

過した日は、近くにある「愛里里」で子どもたちが過ごしている状況です。よって、定員についての検討が優先ということで、今回、指定管理は行いませんでした。

問 現在の放課後児童クラブに勤務している支援員の今後は。

答 子どもたちには継続した支援、同じ支援員による支援が必要と考えています。仕様書の中には、引き続き勤務したいという意向の支援員は、市と協議の上、優先するという内容を盛り込んでいます。

問 花久の里の指定管理者がNPO法人花と文化のふるさと委員会1者である理由は。

答 今回の更新に当たり、非公募でこのNPO団体を指定する理由として、3つあります。1つ目は合併前の構想により住民参加による運営母体のNPO法人を設立した地元の思い、2つ目は地元NPO団体であることが国の補助金の採択条件であること、3つ目は地元で密着した事業を行った実績を評価したことです。

問 指定管理料のほかにどのような収入があるのか。また、物産販売は指定管理者収入なのか。

答 食事処のうどんやケーキ等の喫茶、貸し館業務の収入があります。

地場産センター等での野菜、地元の食材等の販売は指定管理者の自主事業となり、指定管理者の収入となります。

問 現在、鴻巣駅東口第1駐車場と第2駐車場で指定管理者が別々であるが、指定管理者が1者となった理由は。

答 駐車場と隣接するエルミこのの管理を行っている1者に委託することで、管理の効率化を図るとともに情報共有が可能となると考えます。また、駐車場の管理室がビル管理室を兼ねており、機密情報の確保等を考え、ビルメンテナンス業者と同じ業者にとり判断になりました。

補正予算 結婚新生活支援補助金

問 結婚支援事業についての評価は。

答 結婚新生活支援補助金をきっかけに、結婚して本市に住みたいと思う人もいますので、定住という面では効果があると考えています。

補正予算 保育所費庶務事業

問 午睡ベッドと収納用台車の整備内容は。

答 5カ所の保育所に、午睡ベッド500台、収納台車50台を整備予定で、その結果、公立保育所8カ所全

てに今年度中に整備されます。

補正予算 橋りよう維持事業

問 橋梁の定期点検の結果、今回筑波橋を改修することになった。その点検の判定基準と結果は。

答 昨年度までの4年間で、長さ2m以上の493カ所の橋を点検し、4段階の判定評価を行いました。点検の結果、1判定は、橋の機能に支障はない状況で237橋、2判定は、支障はないが措置を行うのが望ましい状況で223橋、3判定は、支障が生じる可能性があり、早期に措置を行うべき状況で33橋、4判定は、橋に支障があり、緊急に措置を行うべき状況で、該当はありませんでした。



問 今回の補正で工事を行う筑波橋は3判定であったが、他の3判定の橋の今後の計画予定は。

答 長さ10m以上の橋で新しい橋梁を除いた62橋を対象にした「鴻巣市橋梁長寿命化修繕計画」があります。今年度、この62橋を含む493橋を対象にした計画を策定中です。3判定の橋梁については早期に修繕の計画を立てていきます。

補正予算 水質検査等業務委託

問 水質の検査項目の内容は。

答 水道法第4条に水質基準が規定されており、毎月検査を行っています。また、厚生労働省の通知で示された水質管理目標設定項目も年1回実施しています。



問 羽田空港で、水質の問題から長時間にわたり止水した。本市も同様のことが起こる可能性は。

答 本市においても受水槽が設置してある施設等は同様のリスクがあると考えます。

補正予算 国保電算システム変更委託料

問 368万5000円計上されているが、どのような費用か。

答 次の2点の改修費用です。1点目は、外国人の在留期間及び在留理由を情報集約システムに入力できるようにして、有効期限管理が適切に行えるようにします。2点目は、資格の適用適正化を図るものです。現行システムでは双子や同一生年月日で新たに転居した人が家庭にいる場合の個人が特定できないため、被保険者番号の後に2桁の個人識別番号を付設して特定できるようにします。

菅野博子議員を糾弾し、議員活動の自粛及び再発防止を求める決議

菅野博子議員は、令和元年10月5日行田市産業文化会館ホールにて開催された行田市主催の「新ごみ処理施設に関する説明会」において、鴻巣市議会議員の菅野博子と名乗ったうえで、「鴻巣の議会は本当に26名中6、7名を除いて20名くらいは、市長の言うことは泥棒でも人殺しでも大賛成という議会だから、全然通りません」との発言をした。これは、いわれない暴言であり、許しがたい発言である。また、鴻巣市議会議員及び鴻巣市長を侮辱するとともに、鴻巣市議会の権威と品位を著しく失墜させたと言わざるを得ず、鴻巣市議会として、議員としての活動を行う資格はないと断ぜざるを得ない。よって、ここに菅野博子議員を糾弾し、ただちに、議員活動を自粛するとともに再発防止を強く求める。以上、決議する。

令和元年12月18日

鴻巣市議会

議員提出議案第3号
菅野博子議員を糾弾し、議員活動の自粛及び再発防止を求める決議
(原案可決)

決議